

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	肝細胞癌 エピルピシン+アイエーコール動注療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2025年9月3日		
疾患名	肝細胞癌		<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	1クール期間		7日	
診療科名	消化器内科							
登録医師名	兒玉 英章				実施回数		回	
適応	肝細胞癌							

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	投与場所	ルート	投与時間	投与日									注意コメント
								day1	—	—	—	—	—	—	—	—	
1	エピルピシン10mg	4	V	動注	カテ室			●	—	—	—	—	—	—	—	—	1)アイエーコールのバスが入っているか確認すること 2)薬剤部で調製 エピルピシン4Vをオムニパーク5mLで溶解し、可能な限り採取する 3)5mLシリンジで調製 4)オムニパークの残薬はバイアルのままエピルピシンと共に払い出し 5)全職種共通 レジメン管理表の補足の項を確認して行動すること
	オムニパーク300注	5	mL														
2	動注用アイエーコール100mg	1	V	動注	カテ室			●	—	—	—	—	—	—	—	—	1)生食バックで調製（100mLの生食から30mL抜き、残りの70mLでアイエーコールを調製） 2)アイエーコールは1Vあたり温浴（約50℃）で加温した生理食塩液70mLで溶解する 3)溶解後6時間以内には使用すること（6時間までは結晶析出認められないが、24時間
	生理食塩水	70	mL														
3																	

備考欄  
肝動脈塞栓療法(TACE)のバスが入っていることを確認すること  
レジメン監査した薬剤師はアイエーコール溶解用の生食を温浴にて加温させること

文献

減量・中止基準

補足  
医師はエピルピシン・アイエーコールが使用可能と判断されたら薬剤部へ調製依頼を行う。(実施可の入力があっても調製しない)  
調製依頼後、薬剤師はエピルピシン・アイエーコールの調製を行う。  
調製終了後、薬剤師は病棟へ調製完了の電話を行い、看護師は薬剤部からエピルピシン・アイエーコールを受け取る。  
看護師はエピルピシン・アイエーコールを血管造影室へ持参し医師へエピルピシン・アイエーコールを手渡す。  
抗癌剤が未使用になった場合には血管造影室で破損処理を行い、廃棄する。